

平成29年度 10月→12月 (vol.3)

アイヌ語 ラジオ講座

講師 山丸賢雄



STV ラジオ

本放送 毎週日曜日 7:00 ~ 7:15 **再放送** 毎週土曜日 23:45 ~ 24:00

STV ラジオのホームページでこれまでの放送を聴くことができます。 <http://www.stv.jp/radio/ainugo/>

公益財団法人 アイヌ文化振興・研究推進機構

はじめに

アイヌ語は、アイヌの人たちが話してきた独自の言語です。今でも、私たちが普段アイヌ語を身近に触れているものとして、「地名」があります。アイヌ語が由来とされる地名は、北海道をはじめ、サハリンや千島列島、それに東北地方にも数多く残されています。アイヌ語は地名の他にも、「エトピリカ」「ラッコ」「トナカイ」など、アイヌ語として意識されずに使われている言葉が多くあります。

現在では、アイヌ語の話者は減少し、アイヌ語を日常会話の言語として使われることが、ほとんどなくなってきました。それでも祖先から伝えられてきた言葉を残していこうと、地域においてさまざまな活動が行われています。

この「アイヌ語ラジオ講座」では、初心者向けのやさしいアイヌ語の講座を、ラジオで放送しております。多くの方々がアイヌ語に触れるきっかけとして、また、初級のアイヌ語を学習する機会として、さまざまな講師をお招きして、平成10年より開講しております。

平成29年度は、4月からの1年間にわたって、講師に白老町出身の山丸賢雄さんをお迎えして、アイヌ語の「白老方言」を学んでいきます。

さあ、私たちと一緒に、アイヌ語の世界をのぞいてみませんか。

平成29年4月

「アイヌ語ラジオ講座」テキスト vol.3 目次

テキストは3か月ごとに発行しています。

●講師の紹介	2 P
●講座のスケジュール	3 P
●テキスト27～40	4～31 P
●収録テープ等の貸出について	32 P
●アンケート	33～34 P
●会員募集のお知らせ	37 P

平成29年度 10月→12月 (vol.3)

アイヌ語 ラジオ講座

講師 山丸賢雄



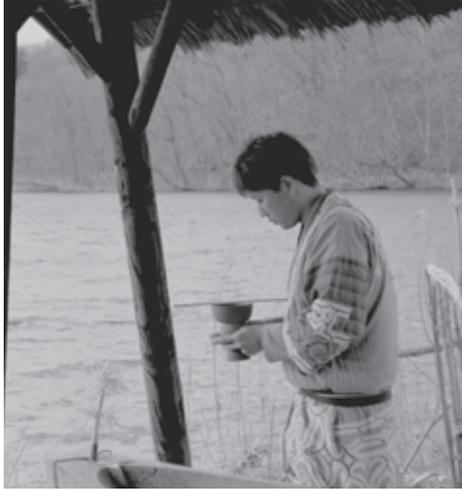
STV ラジオ

本放送 毎週日曜日 7:00 ~ 7:15 **再放送** 毎週土曜日 23:45 ~ 24:00

STV ラジオのホームページでこれまでの放送を聴くことができます。 <http://www.stv.jp/radio/ainugo/>

公益財団法人 アイヌ文化振興・研究推進機構

講師のプロフィール



やままる けんゆう
山丸 賢雄

白老町出身。(一財)アイヌ民族博物館学芸課職員。

2014年4月から2017年3月まで、伝承者育成事業第3期生としてアイヌ民族博物館を拠点にアイヌ文化を総合的に学ぶ。また、アイヌ民族博物館の情報誌「こたんめーる」では、挿絵を担当している。

支援研究者

おかだ みちあき
岡田 路明

苫小牧駒澤大学国際文化学部国際文化学科教授

【このテキストのアイヌ語と表記の仕方について】

現在のところアイヌ語には共通語というものがなく、それぞれの地域でそれぞれの方言が学ばれています。そのため、このテキストでは担当講師の方言（白老方言）をベースにしています。



アイヌ語ラジオ講座のスケジュール

月	日	kanpinuyeye	テーマ	ページ
10 月	1日	27	目的格人称接辞 1 (一人称単数・複数)	4
	8日	28	目的格人称接辞 2 (二人称単数・複数)	6
	15日	29	目的格人称接辞 3 (目的格人称接辞の復習)	8
	22日	30	人称代名詞 (一人称単数・複数)	10
	29日	31	人称代名詞 (二人称単数・複数)	12
11 月	5日	32	いろいろな表現 1 (～と～・～か～・～も)	14
	12日	33	いろいろな表現 2 (～して～)	16
	19日	34	いろいろな表現 3 (～なので～)	18
	26日	35	いろいろな表現 4 (～ならば・～であっても)	20
12 月	3日	36	いろいろな表現 5 (～とそのように)	22
	10日	37	いろいろな表現 6 (～しつつ・～しながら)	24
	17日	38	いろいろな表現 7 (～してしまった)	26
	24日	39	いろいろな表現 8 (～で・～へ・～から)	28
	31日	40	テキスト 3 の復習	30

Lesson27 目的格人称接辞1 (一人称単数・複数)

【今日の例文】

1. タンペ エンコレ。

tanpe en=kore.
これ 与える (これを私にください。)

2. トアン ポロ カムイチェフ エンコレ。

toan poro kamuycep en=kore.
その 大きい サケ 与える (その大きいサケを私にください。)

3. フッチ エンラムイエ。

hutci en=ramuye.
お婆さん ~を褒める
(お婆さんが私を褒めた=お婆さんに褒められた。)

4. タン パセ シケ ルラ ワ エンコレ。

tan pase sike rura wa en=kore.
この 重い 荷物 ~を運ぶ ~て 与える。
(この重い荷物を運んでください。)

5. タンペ ウンコレ ヤン。

tanpe un=kore yan.
これ 与える ~してください (これを私たちにください。)

6. アイヌイタク ウンヌレ ヤン。

aynuitak un=nure yan.
アイヌ語 教える ~してください
(アイヌ語を私たちに教えてください。)

【単語】

アイヌ語		日本語
タンペ	tanpe	これ
エン	en=	目的格人称接辞 (一人称単数)
コレ	kore	~に~を与える (他)
トアン	toan	その
ポロ	poro	大きい
カムイチェフ	kamuycep	サケ
フッチ	hutci	お婆さん (フチと発音する地域もある)





アイヌ語		日本語
ラムイエ	ramuye	～を褒める（他）
タン	tan	この
パセ	pase	重い
シケ	sike	荷物
ルラ	rura	～を運ぶ（他）
ワ	wa	～して
ウン	un=	目的格人称接辞（一人称複数）
ヤン	yan	～してください
アイヌイタッ	aynuitak	アイヌ語
ヌレ	nure	～に～を聞かせる・教える（他）

【今日の解説】

アイヌ語の人称接辞には、テキスト2で説明した主格人称接辞の他に、今回説明する目的格人称接辞も存在します。主格人称接辞は、動詞の動作を“誰がするのか”を表しています。それに対し目的格人称接辞は、動詞の動作を“誰に対してするのか”を表します。つまり、日本語で表現すると、“誰にそうするのか”、或いは“誰をそうするのか”という意味になります。例えば、「コレ」は「～に～を与える」という意味の単語ですが、その「与える」という動作を誰にするのかを表すのが目的格人称接辞です。よって、「エンコレ」は「コレ」に目的格人称接辞の「エン」が付いて“与えるという動作を私に対してしなさい”という意味になり、そこから「私にください」という表現になるのです。そのため、ひとに何かをしてもらおうとするときは、この目的格人称接辞を使って話すことにより、“そのことをしてください”というお願いの表現になります。また、ひとから何かされたときも、“その動作を私にする”という意味から、「私を褒める＝褒められる」というような表現ができるのです。なお、「エン」は「私に・私を」、「ウン」は「私たちに・私たちを」という意味です。

アイヌ語の他動詞には、目的語を二つ取る語があります。今回使った「コレ」や「ヌレ」もその例です。これらの語は、日本語では「～に～を与える」「～に～を教える」となります。テキストの例文では、文字数の都合で単に「与える」「教える」としか書きませんでした。本来の訳には「～に～を」が付きます。また、「ヌレ」と似た意味で「エパカシヌ＝～に～を教える」が使われることもあります。

Lesson28 目的格人称接辞2 (二人称単数・複数)

【今日の例文】

1. タンペ エコレアシ ナ。

tanpe e=kore=as na.

これ 与える ~よ (これをあなたにあげますよ。)

2. タン ポロ カムイチェフ エコレアシ。

tan poro kamuycep e=kore=as.

この 大きい サケ 与える

(この大きいサケをあなたにあげます。)

3. アウン チセ ウン エカシ エラムイエ。

aun cise un ekas e=ramuye.

隣 家 の お爺さん ~を褒める

(隣の家のお爺さんがあなたを褒めた。)

4. エコロ ハポ、 ソンノ エオマフ シリ ネ。

e=kor hapo, sonno e=omap sir ne.

あなたの お母さん 本当に ~を可愛がる ~ようだ

(あなたのお母さんは、本当にあなたを可愛がっているようですね。)

5. クコロ フッチ アイヌイタフ エチヌレ。

ku=kor hutci aynuitak eci=nure.

私の お婆さん アイヌ語 教える

(私のお婆さんがあなたたちにアイヌ語を教えた。)

6. アチャポ エチコパシロタ ルウエ。

acapo eci=kopasrota ruwe.

おじさん ~を叱る ~よ (おじさんがあなたたちを叱った。)

【単語】

アイヌ語		日本語
エ~アシ	e= ~ =as	目的格人称接辞 (二人称単数)
エチ	eci=	目的格人称接辞 (二人称複数)
ナ	na	~だよ
アウン	aun	隣の
チセ	cise	家
ウン	un	~にいる





アイヌ語		日本語
エカシ	ekas	お爺さん
エ	e=	目的格人称接辞（二人称単数）
エ	e=	主格人称接辞（二人称単数）
コロ	kor	～を持つ（他）
ハポ	hapo	お母さん
ソンノ	sonno	本当に
オママ	omap	～を可愛がる（他）
シリ	sir	～のように
ネ	ne	～だ
ク	ku=	主格人称接辞（一人称単数）
アチャポ	acapo	おじさん
コパシロタ	kopasrota	～を叱る（他）
ルウエ	ruwe	～のようだ

【今日の解説】

前回に続き、目的格人称接辞の説明です。今回は二人称の単数と複数です。目的格人称接辞は、アイヌ語の中でも少し覚えにくく、特に今回のような二人称の場合は、正確な使い分けが難しい存在です。目的格人称接辞も一人称はよく使われますので、学ぶ機会も多いのですが、二人称は一人称に比べて使われる頻度も少なく、しっかりと理解しようとしなければ、会話の中で使うのは難しくなります。ただし、目的格人称接辞もアイヌ語には欠かすことのできない存在ですので、これを理解せずに、アイヌ語を理解することはできません。

目的格人称接辞は他動詞にしか付きません。例えば「イペ エンエレ＝食事を私に食べさせる」のように、「エレ＝～を～に食べさせる」という他動詞の目的語にもなりますので、目的語を取ることのできない自動詞には付かないのです。

MEMO

Lesson29 目的格人称接辞3 (目的格人称接辞の復習)

【今日の例文】

1. タンペ エンコレ。

tanpe en=kore.
これ 与える (これを私にください。)

2. クコロ フッチ エンラムイエ。

ku=kor hutci en=ramuye.
私の お婆さん ~を褒める
(私のお婆さんが私を褒めた=私のお婆さんに褒められた。)

3. ピリカ ノンノ ウンコレ ヤン。

pirka nonno un=kore yan.
美しい 花 与える ~してください
(美しい花を私たちにください。)

4. テエタ コラチ アイヌイタ ユンヌレ ヤン。

teeta koraci aynuitak un=nure yan.
昔 ~のように アイヌ語 教える ~してください
(昔のようにアイヌ語を私たちに教えてください。)

5. タン ケラアン トペンペ エコレアシ ナ。

tan keraan topenpe e=kore=as na.
この 美味しい お菓子 与える ~よ
(この美味しいお菓子をあなたにあげますよ。)

6. エコロ ミチ、 ソンノ エチオマ ヶ シリ ネ。

e=kor mici, sonno eci=omap sir ne.
あなたの お父さん 本当に ~を可愛がる ~ようだ
(あなたのお父さんは、本当にあなたたちを可愛がっているようですね。)

【単語】

アイヌ語		日本語
ピリカ	pirka	美しい
ノンノ	nonno	花
テエタ	teeta	昔
コラチ	koraci	~のように
ケラアン	keraan	美味しい





アイヌ語		日本語
トペンペ	topenpe	お菓子
ミチ	mici	お父さん

【今日の解説】

目的格人称接辞は複雑です。このテキストでは、日常の会話の中で使われると思われる一人称と二人称を説明しましたが、実際には更に複雑で、地方差もあり、理解することがとても難しい存在です。

白老地方は、明治になってからの開発が急速に進み、更には明治32年（1899年）に制定された「北海道旧土人保護法」によって、アイヌ民族の子どもに日本文化を教える学校が設置され、アイヌ語の使用が早い時期に衰退しました。そのため白老地方では、白老方言の目的格人称接辞を研究するための資料も、あまり残されていません。

もちろん、全く資料がないわけではなく、一人称の単複や二人称の単複なら今でも知ることができるのですが、複雑な表現は、資料が残っていないためにわかりません。例えば、「誰かが私に・私を」「誰かがあなたに・あなたを」「あなたたちが私たちに・私たちを」など、「誰かが誰かに・誰かを」という組み合わせの表現はたくさん考えられるのですが、それらを知ることとはとても難しく、もし今後知る手段があるとすれば、白老地方と同じか極めて近い方言を使う幌別地方の資料を利用するしかありません。幌別地方出身の伝承者には、アイヌ語研究に多大な貢献をした方々がおられて、古い時期から多くの記録が残されています。幌別地方は、白老地方と同じ通婚圏に含まれ、婚姻関係も古くから行われています。そのため、使われる方言が似ているのです。ただし、白老地方には日高方面から移住した人びとも住んでいるとの伝承があり、使われる単語にもその名残らしきものが混じります。よって、幌別地方の方言と全く同じというわけではないので、これからも研究が必要です。

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....



Lesson30 人称代名詞（一人称単数・複数）

【今日の例文】

1. クアニ アナク ヤママルケンユウ クネ。シラオイコタン オッタ クアン。
 kuani anak yamamarukenyu ku=ne. siraoikotan otta ku=an.
 私 ~は 山丸賢雄 です 白老町 ~に いる
 (私は山丸賢雄です。白老町に住んでいます。)

2. クアニ パテク シコッコタン ウン クオマン ワ。
 kuani patek sikotkotan un ku=oman wa.
 私 ~ばかり 千歳市 ~へ 行く ~よ
 (私だけ千歳市へ行きます。)

3. チオカイ アナク シコッコタン ウン パイエアシ。
 ciokay anak sikotkotan un paye=as.
 私たち ~は 千歳市 ~へ 行く
 (私たちは千歳市へ行きます。)

4. チオカイ アナク ケラアン アエフ チエ。
 ciokay anak keraan aep ci=e.
 私たち ~は 美味しい 食べ物 ~を食べる
 (私たちは美味しい食べ物を食べます。)

5. アオカイ カ シコッコタン ウン パイエアン ロ。
 aokay ka sikotkotan un paye=an ro.
 私たち ~も 千歳市 ~へ 行く ~しましょう
 (私たちも千歳市へ行きましょう。)

6. アオカイ アナク ポロ カムイチェフ ウンエイメクカラ。
 aokay anak poro kamuycep un=eymekkar.
 私たち ~は 大きい サケ 分け与える
 (私たちは大きいサケを分けて貰った。)

【単語】

アイヌ語		日本語
クアニ	kuani	私
アナク	anak	~は
シラオイコタン	siraoikotan	白老町
オッタ	otta	~の中に
アン	an	いる・ある (自・単)



アイヌ語		日本語
パテッ	patek	～ばかり
シコッコタン	sikotkotan	千歳市
ウン	un	～へ
オマン	oman	行く（自・単）
チオカイ	ciokay	私たち（話し相手を含まない私たち）
パイェ	paye	行く（自・複）
アシ	=as	主格人称接辞（一人称複数）
アエッ	aep	食べ物
チ	ci=	主格人称接辞（一人称複数）
エ	e	～を食べる（他）
アオカイ	aokay	私たち（話し相手を含む私たち）
カ	ka	～も
アン	=an	主格人称接辞（一人称複数）
ロ	ro	～しましょう
ポロ	poro	大きい
カムイチェッ	kamuycep	サケ
エイメッカラ	eymekkar	～を～に分け与える（他）

【今日の解説】

今までは、アイヌ語の“人称接辞”を説明してきました。人称接辞は、日本語には同じ働きをする文法も単語もありませんので、基本的には「私」とか「あなた」などと日本語に訳すことができません。何故なら、人称接辞は「その動作をするのは誰か」や「その動作を誰にするのか」「誰をそうするのか」を表しているだけで、日本語の「私」や「あなた」という意味を持っていないからです。

それに対し、“人称代名詞”は日本語の「私」や「あなた」と同じ意味の語ですので、日本語に訳すときも「私は～」のように訳すことができます。ただし、日本語でも「私」や「あなた」という表現はそれ程多用されることはなく、日常の会話では「一緒に行くかい」「うん、行くよ」のように、誰が行くのかを言い表さずに会話が進むのと同じように、アイヌ語でも人称代名詞を使わずに会話が交わされることの方が一般的です。そもそもアイヌ語には、省くことのできない人称接辞が付きますので、人称代名詞が付かなくても、その動作をするのは誰なのかが明確に言い表されています。

Lesson31 人称代名詞（二人称単数・複数）

【今日の例文】

1. エアニ アナク エイペルスイ ヤ。
 eani anak e=iperusuy ya.
 あなた ～は お腹が空く ～か（あなたはお腹が空いていますか。）

2. エアニ アナク サッポロ オッタ エアン ルウエ。
 eani anak sapporo otta e=an ruwe.
 あなた ～は 札幌 ～に いる ～か
 （あなたは札幌に住んでいるのですか。）

3. エアニ パテク シコッコタン ウン エオマン ヤ。
 eani patek sikotkotan un e=oman ya.
 あなた ～ばかり 千歳市 ～へ 行く ～か
 （あなただけ千歳市へ行くのですか。）

4. エチオカイ カ ケラアン トペンペ エチエ ヤ。
 eciokay ka keraan topenpe eci=e ya.
 あなたたち ～も 美味しい お菓子 ～を食べる ～か
 （あなたたちも美味しいお菓子を食べますか。）

5. エチオカイ カ シコッコタン ウン エチパイェ ヤ。
 eciokay ka sikotkotan un eci=paye ya.
 あなたたち ～も 千歳市 ～へ 行く ～か
 （あなたたちも千歳市へ行くのですか。）

6. エチオカイ アナク ポロ カムイチェフ エチエイメクカラ ヤ。
 eciokay anak poro kamuycep eci=eymekkar ya.
 あなたたち ～は 大きい サケ 分け与える ～か
 （あなたたちは大きいサケを分けて貰いましたか。）

【単語】

アイヌ語		日本語
エアニ	eani	あなた
イペルスイ	iperusuy	お腹が空く（自）
ヤ	ya	～か
エチオカイ	eciokay	あなたたち
エチ	eci=	主格人称接辞（二人称複数）



【今日の解説】

前回は一人称の「私」「私たち」を説明しました。今回は「あなた」「あなたたち」に付いて説明します。前回も説明したように、アイヌ語では人称接辞が使われますので、人称代名詞が頻繁に使われることはありません。それでも、全く使われないわけではなく、例えば「クアニ クオマン ワ。エアニ カ エオマン ヤ。=私は行くよ。あなたも行くのかい。」のような会話で、「(他の人が行くか行かないかに係わらず)私は行く。あなたも行くのか。」というように、誰が行くのかを明確に言い表したいときなどは、人称代名詞を付けて話されます。

人称代名詞の二人称複数は、一人称複数と違って「エチオカイ」しかありません。人称代名詞の一人称複数では、人称接辞の一人称複数と同じように、話し相手を含んでの私たちなのか、含まないでの私たちなのかによって、使われる単語が違います。二人称複数にはその使い分けがありませんから、一人称複数よりは覚えやすいのではないのでしょうか。

人称代名詞を使うときの注意は、たとえ人称代名詞で「私」と言い表したとしても、人称接辞を省くことはできないという点です。「クアニ クオマン ワ。」の「クオマン」は、「行く」という動詞の「オマン」に、人称接辞の「その動作をするのは私だ」という意味を表す「ク」が付いて「クオマン」となっています。このとき、「クアニ=私」と先に言っているので、人称接辞の「ク」を省いて「クアニ オマン ワ。」と言うと、「私は誰かが行く」という意味になり、アイヌ語として通じなくなってしまいます。

今回の例文では、あえて「アナク=～は」を使いましたが、「アナク」も日常会話の中では使われる頻度は少なく、普段は「クアニ クオマン ワ。」のように「アナク」を付けずに話されます。

なお、一人称複数も二人称複数も、人称代名詞が複数の場合は、使われる動詞も複数形が使われます。ただし、単複の違いがある動詞はそれ程多くはないのと、動作をする人数に因らない複数形もありますので、注意が必要です。また、人称代名詞が複数のときは、使われる人称接辞も複数形の人称接辞になります。

MEMO

Lesson32 いろいろな表現1 (～と～・～か～・～も)

【今日の例文】

1. チエッ ネワ カム エンコレ。

ciep newa kam en=kore.
魚 と 肉 与える (魚と肉をください。)

2. カンピソッ ネワ トペンペ クコロ ワ エコッ チセ オルン クオマン。

kanpisos newa topenpe ku=kor wa e=kor cise orun ku=oman.
本 と お菓子 ~を持つて ~を持つ 家 ~へ 行く
(本とお菓子を持って、あなたの家へ行きます。)

3. チエッ ヘネ カム ヘネ エンコレ。

ciep hene kam hene en=kore.
魚 か 肉 か 与える (魚か肉をください。)

4. ニサッタ ヘネ オヤシム、スイ アリキ ヤン。

nisatta hene oyasim, suy arki yan.
明日 か 明後日 再び 来る ~してください
(明日か明後日、また来てください。)

5. チエッ カ カム カ クコン ルスイ。

ciep ka kam ka ku=kor rusuy.
魚 も 肉 も ~を持つ ~したい (魚も肉も欲しい。)

6. エカシ カ フッチ カ チセ オンナイタ オカイ。

ekas ka hutci ka cise onnayta okay.
お爺さん も お婆さん も 家 ~の中に いる
(お爺さんもお婆さんも家の中にいます。)

【単語】

アイヌ語		日本語
チエッ	ciep	魚 (白老では、鮭鱒以外の魚。)
ネワ	newa	～と～
カム	kam	肉
カンピソッ	kanpisos	本
オルン	orun	～へ
ヘネ	hene	～か～



アイヌ語		日本語
ニサッタ	nisatta	明日
オヤシム	oyasim	明後日
スイ	suy	再び
アッキ	arki	来る（自・複）
オンナイタ	onnayta	～の中に
オカイ	okay	いる（自・複）

【今日の解説】

今回からは、アイヌ語のいろいろな表現について説明します。今回は、「ネワ＝～と～」や「ヘネ＝～か～」「カ＝～も」など、文を繋ぐ単語を使った表現です。文を繋ぐ単語はたくさんあります。その中でも代表的なのは、「と」ではないでしょうか。「AとB」というときの「と」です。白老地方では「ネワ」を使いますが、「ネワ」を使わずに「AB」と単語を並べて「AとB」を言い表す地域もあります。例えば白老では「チエッ ネワ カム」と言いますが、場所によっては「チエッカム」のように物の名前を並べて表現する地域もあります。

「ヘネ」は、「AかBか」と言うときの「か」に近い語ですが、日本語の意味とは少し違います。日本語では「AとかBとか」「A或いはB」などの意味に近い表現です。

また、「カ」は、「AもBも」という意味で使われます。日本語の「も」に近く、「私も行きます」と表現したときの「も」に近い語です。

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



Lesson33 いろいろな表現2 (～して～)

【今日の例文】

1. エコロ コタン オルン クアッカシ ワ クオマン。
 e=kor kotan orun ku=apkas wa ku=oman.
 あなたの村 ～へ 歩く ～して 行く
 (あなたの街へ歩いて行きます。)

2. チュク エク ワ カルシ トウク。
 cuk ek wa karus tuk.
 秋 来る ～して キノコ 芽が出る
 (秋が来てキノコが出た。)

3. カルシ クフナラ ワ キム ペカ クアッカシ。
 karus ku=hunara wa kim peka ku=apkas.
 キノコ ～を探す ～して 山 ～を 歩く
 (キノコを探して山を歩きました。)

4. トカパイペ クエ オケレ イネ エコツ チセ オルン クオマン。
 tokapipe ku=e okere ine e=kor cise orun ku=oman.
 昼食 ～を食べる 終わる ～して あなたの 家 ～へ 行く
 (昼食を食べ終わって、あなたの家へ行きます。)

5. サマムペ クペライカラ イネ クコロ コタン オルン クホシピ。
 samampe ku=peraykar ine ku=kor kotan orun ku=hosipi.
 カレイ ～を釣る ～して 私の 村 ～へ 帰る
 (カレイを釣って、私の街へ帰ります。)

6. クアッカシ ワ エキ オルン クオマン イネ デンシャ クオ。
 ku=apkas wa eki orun ku=oman ine densya ku=o.
 歩く ～して 駅 ～へ 行く ～して 電車 乗る
 (歩いて駅へ行って、電車に乗りました。)

【単語】

アイヌ語		日本語
コタン	kotan	集落・村・街
アッカシ	apkas	歩く (自)
チュク	cuk	秋
エク	ek	来る (自・単)



アイヌ語		日本語
カルシ	karus	キノコ
トゥク	tuk	芽が出る（自）
フナラ	hunara	～を探す（他）
キム	kim	山（奥山）
ペカ	peka	～を（広がりのある場所を）
トカパイペ	tokapipe	昼食
オケレ	okere	終わる
イネ	ine	～して
サマムペ	samampe	カレー
ペライカラ	peraykar	～を釣る（他）
ホシピ	hosipi	帰る（自・単）
オ	o	乗る（自）

【今日の解説】

今回も、アイヌ語のいろいろな表現について説明します。今回使われる単語の「ワ」と「イネ」は、どちらも動詞と動詞を繋いで、一つの文（表現）を作るときに使われます。意味に大きな違いはなく、どちらも「～して～」の意味で使われます。では、どちらを使っても良いのかというとそうではなく、「ワ」の方は単純に動詞を繋ぐのに対し、「イネ」は「～して、そしてそれから～」のような表現で使われます。例えば、「(私が)走って帰る」のように、一連の動きとして表現するときは、「クホユプ ワ クホシピ」と「ワ」で繋がります。それに対し、「(私が)家に帰って眠る」のように一連の動きではなく、「家へ帰って、それから眠る」というような表現のときは、「クコッチセ オルン クホシピ イネ クモコロ」と「イネ」で繋がります。ただし、両者に厳密な使い分けはなく、伝承者によって多くを「ワ」で繋いだり、「イネ」で繋いだりしますので、両者に大きな違いはないと思われます。また、日常会話では「ワ」を多く使う方も、物語を語るときは「イネ」が多用されるということもありますので、“正確に”使い分けをするのが難しい、もしくは使い分けることのできない単語です。

MEMO

Lesson34 いろいろな表現3 (～なので～)

【今日の例文】

1. ヤム クウウォマレ クス クエキムネ。

yam ku=uwomare kusu ku=ekimne.

クリ ～を拾う ために 山へ行く

(クリを拾うために山へ行きました。)

2. ポロンノ クモコロ クス タネ クモコン ルスイ カ ソモ キ。

poronno ku=mokor kusu tane ku=mokor rusuy ka somo ki.

たくさん 眠る ので 今は 眠る ～したい も ～をしない

(たくさん眠ったので今は眠くない。)

3. クスリ ウン クオマン クス ウトゥラノ パイエアン ロ。

kusuri un ku=oman kusu uturano paye=an ro.

釧路 ～へ 行く ので 一緒に 行く ～しましょう

(釧路へ行くので一緒に行きましょう。)

4. テエタオルッペ クヌ コロカ クオイラ。

teetaoruspe ku=nu korka ku=oyra.

昔話 ～を聞く けれど ～を忘れる

(昔話を聞いたけれど忘れた。)

5. ポロンノ クモコロ ア コロカ ナア クモコン ルスイ。

poronno ku=mokor a korka naa ku=mokor rusuy.

たくさん 眠る た けれど まだ 眠る ～したい

(たくさん眠ったけれどまだ眠い。)

6. カルシ クフナラ ワ キム ペカ クアッカシ アコロカ カルシ ソモ クパ。

karus ku=hunara wa kim peka ku=apkas a korka karus somo ku=pa.

キノコ 探す ～して 山 ～を 歩く たけれどキノコない ～を見つける

(キノコを探して山の中を歩いたけれど、キノコは見つからなかった。)

【単語】

アイヌ語		日本語
ヤム	yam	クリ (クリの実)
ウウォマレ	uwomare	～を拾う・拾い集める (他・単)
クス	kusu	～なので・～のために
エキムネ	ekimne	何かを取りに山へ行く (自)



アイヌ語		日本語
ポロンノ	poronno	たくさん
モコロ	mokor	眠る（自）
タネ	tane	今は・今はもう
カ	ka	～も
ソモ	somo	～ない（ソモキ＝～をしない）
キ	ki	～をする（他）
クスリ	kusuri	釧路
ウトウラノ	uturano	一緒に
テエタオルシペ	teetaoruspe	昔話（テエタ＝昔・オルシペ＝話）
ヌ	nu	～を聞く（他）
コロカ	korka	～けれど
オイラ	oyra	～を忘れる（他）
ア	a	～した（完了を表す）
ナア	naa	まだ
パ	pa	～を見つける（他）

【今日の解説】

「クス」は文を繋ぐ単語（接続詞）です。「～なので～」或いは「～のために～」という意味で使われます。アイヌ語では良く使われる語で、かつての伝承者から昔の話をアイヌ語で聞いていたころは、文を「クス」で途切れなく繋いで話が進むために、日本語に訳するときどこで切って良いのかに迷うことがあったくらい、「クス」が使われました。また、話をするときに「クス」から話し始める方もおられました。「クス」から始まる話し方は、日本語での「なので」とか「だから」で始まる話し方と似ています。なお、「クス」から始まる時は「ス」をはっきり発音するのではなく、「クス」と「ス」を軽くしか発音しないのが一般的です。

「コロカ」も文を繋ぐ単語で、「～けれど～」という意味で使われます。「クス」程ではありませんが、会話の中で良く使われる語です。例文のように、「探したけれど見つからなかった」のような意味で使われますので、「クス」と併せて覚えていと便利な表現です。

Lesson35 いろいろな表現4 (~ならば・~であっても)

【今日の例文】

1. イペ エエ ヤク ピリカ ワ。
 ipe e=e yak pirka wa.
 食事 ~を食べる ~なら 良い よ (ご飯を食べたなら良いよ。)
-
2. シネン ネ ペッサムタ エオマン ヤクネ ウェン マ。
 sinen ne petsamta e=oman yakne wen wa.
 一人 で 川の傍 行く ~なら 悪い よ
 (一人で川の傍へ行ったらだめだよ。)
-
3. アット アシ ヤクン ムン エプイケヘ トウク ナンコロ。
 apto as yakun mun epuykehe tuk nankor.
 雨 降る ~ならば 草 ~の芽 出る ~するだろう
 (雨が降ったならば、草の芽が出るだろう。)
-
4. エアニ トウキョウ ウン エオマン ヤクン クミシム ナ。
 eani tokyo un e=oman yakun ku=mismu na.
 あなた 東京 ~へ 行く ~ならば 寂しい よ
 (あなたが東京へ行ったら寂しいよ。)
-
5. クイペルスイ ヤッカ アエフ カ イサム。
 ku=iperusuy yakka aep ka isam.
 お腹が空く ~けれども 食べ物 ~も ない
 (お腹が空いたけれど食べる物もない。)
-
6. エアニカ エオマン ナンコロ アリ クヤイヌ ヤッカ エオマンカ ソモ キ。
 eani ka e=oman nankor ari ku=yaynu yakka e=oman ka some ki.
 あなたも 行く だろう ~と思う ~けれども 行く も ~しない
 (あなたも行くだろうと思ったけれど、行かなかった。)

【単語】

アイヌ語		日本語
イペ	ipe	食事をする (自)
ヤク	yak	~なら
ピリカ	pirka	良い (自)
ワ	wa	~よ
シネン	sinen	一人





アイヌ語		日本語
ネ	ne	～で
ペッサムタ	petsamta	川の傍
ヤクネ	yakne	～なら
ウエン	wen	悪い（自）
アット	apto	雨
アシ	as	降る（自）
ヤクン	yakun	～ならば
ムン	mun	草
エプイケヘ	epuykehe	～の芽
ナンコロ	nankor	～するだろう
トウキョウ	tokyo	東京
ミシム	mismu	寂しい（自）
ナ	na	～よ
ヤッカ	yakka	～けれども
イサム	isam	ない（自）
アリ	ari	～で・～とそのように
ヤイヌ	yaynu	思う（自）

【今日の解説】

「ヤク」を使った表現です。「ヤク」も文を繋ぐ語として使われる頻度が高く、覚えておくと便利な単語です。「ヤク」は、「ヤク」だけでも使われますが、その他にも「ヤクネ＝ヤク ネ」「ヤクン＝ヤク ウン」「ヤッカ＝ヤク カ」など、他の語と合わさることによって、いろいろな意味となって使われます。また、言葉を繋ぐ表現ばかりではなく、「ヤクン ピリカ ワ＝それなら良いよ」或いは「ヤッカ ピリカ ワ＝それでも良いよ」のように、人と話をしているときの返事などとしても使われます。

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....



Lesson36 いろいろな表現5 (~とそのように)

【今日の例文】

1. タンペ マキリ アリ トゥイパ ヤン。

tanpe makiri ari tuypa yan.
これ 包丁 ~で 切る ~してください
(これを包丁で切ってください。)

2. クテケヘ アリ レクシチェッポ クコイキ。

ku=tekehe ari rekusceppo ku=koyki.
私の手 ~で ドジョウ 獲る
(手でドジョウを獲った。)

3. トアン クル カ オマン ナンコロ アリ クコロ サポ ハウエアン。

toan kur ka oman nankor ari ku=kor sapo hawean.
あの 人も 行く ~するだろう ~と 私の 姉 言う
(あの人も行くだろうと私の姉が言った。)

4. チェッ アッカリ カム クエラマス ナ。

ciep akkari kam ku=eramasu na.
魚 ~よりも 肉 ~を好む よ
(魚よりも肉が好きですよ。)

5. ヌマン アッカリ タント シリピリカ シリ ネ。

numan akkari tanto sirpirka siri ne.
昨日 ~よりも 今日 天気が良い ~です よ
(昨日よりも今日は天気が良いですよ。)

6. タンペ カスノ トアンペ ピリカ ワ。

tanpe kasuno toanpe pirka wa.
これ ~よりも あれ 良い よ
(これよりもあれの方が良いですよ。)

【単語】

アイヌ語		日本語
マキリ	makiri	包丁
トゥイパ	tuypa	~を切る (他・複)
テケヘ	tekehe	~の手
レクシチェッポ	rekusceppo	ドジョウ





アイヌ語		日本語
コイキ	koyki	～を獲る（他・単）
トアン	toan	あの
クル	kur	人
サポ	sapo	姉
ハウエアン	hawean	話す・言う（自・単）
アッカリ	akkari	～よりも
エラマス	eramasu	～を好む（他・単）
ヌマン	numan	昨日
タント	tanto	今日
シリピリカ	sirpirka	天気が良い
シリ	siri	～のようだ
カスノ	kasuno	～よりも
トアンペ	toanpe	あの

【今日の解説】

今回も文を繋ぐ語の説明です。「アリ」は、物語を語るときの決まり文句として、良く使われます。物語の最後に「～とそのように～の神が物語りました」と言って物語が終わるのですが、その「～とそのように」が、アイヌ語では「アリ」を用いて話されるのです。この「～とそのように」という表現は、他の地方では「セコロ」という語が使われることもあります。また、「アリ」は「～でもって」という表現のときにも使われます。

「アッカリ」と「カスノ」は、どちらも「～よりも～」の意味で使われますが、「カスノ」はより対比的に使われ、「AよりもBの方が～」のような意味で使われます。ただし、白老地方では大きな違いはないようにも見えます。

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



Lesson37 いろいろな表現6 (～しつつ・～しながら)

【今日の例文】

1. クトゥレシ プライ コツチャケタ ア ワ アン。

ku=turesi puray kotcaketa a wa an.
私の妹 窓 ～の前に 座る ～て いる
(私の妹は窓の前に座っている。)

2. クコ□ エカシ チタッペ カタ ホツケ ワ アン。

ku=kor ekas citarpe kata hotke wa an.
私のお爺さん ござ ～の上に 横になる ～して いる
(私のお爺さんはござの上に横になっている。)

3. クアキヒ ホユブ コ□ アン。

ku=akihi hoyupu kor an.
私の弟 走る ～しつつ いる
(私の弟が走っている。)

4. クアニ ネワ クウタリヒ マアシ コ□ オカヤシ。

kuani newa ku=utarihi ma=as kor okay=as.
私 ～と 私の友だち 泳ぐ ～しつつ いる
(私と友だちが泳いでいる。)

5. ポン マッカチ ミナ カネ アッカシ ワ オマン。

pon matkaci mina kane apkas wa oman.
小さい女の子 笑う ～しながら 歩く ～して 行く
(ちいさな女の子が笑いながら歩いて行く。)

6. ポンノ エンテレ。クアニ アナッ ポンノ クシニ オロワ クオマン。

ponno en=tere. kuani anak ponno ku=sini orowa ku=oman.
少し 待つ 私 ～は 少し 休む ～してから 行く
(少し待ってください。私は少し休んでから行きます。)

【単語】

アイヌ語		日本語
トゥレシ	turesi	～の妹 (男性から見た妹)
プライ	puray	窓 (他の地方ではプヤ)
コツチャケタ	kotcaketa	～の前に
ア	a	座る (自・単)





アイヌ語		日本語
チタッペ	citarpe	ござ
カタ	kata	～の上に
ホッケ	hotke	横になる（自）
アキヒ	akihi	～の弟
ホユプ	hoyupu	走る（自・単）
コロ	kor	～しつつ・～しながら
ウタリヒ	utarihi	～の友だち
マ	ma	泳ぐ（自）
ポン	pon	小さい
マッカチ	matkaci	女の子
ミナ	mina	笑う（自）
カネ	kane	～しながら
テレ	tere	～を待つ（他）
シニ	sini	休む（自）
オロワ	orowa	～してから

【今日の解説】

文を繋ぐ語はいろいろあります。今回はある動作をしつつある、或いは何かをしながら更に何かをするという表現に付いて説明します。日本語では、「～している」という表現は一つしかありません。例えば「座っている」も「走っている」も、同じ「～ている」という言い方で表現します。しかし、アイヌ語では「座っている」は「ア ワ アン」、「走っている」は「ホユプ コロ アン」という言い方をし、「ワ アン」と「コロ アン」を使い分けます。では、どこで使い分けるのかというと、「ワ」はその動作が一定の状態に落ち着いたときに、「コロ」はその動作の途中にあるときに使います。即ち、「座っている」は「座る」という動作が落ち着いて、座った状態にあり、「走っている」は「走る」という動作が続いていて、「走りつつある」という状態を表しています。そのため、両者の表現を使い分けるのです。

「カネ」は、白老地方では「～しながら～をする」というような表現に使います。白老地方には「カネ アン＝～しながらいる＝～している」という表現もあり、「コロ」との使い分けが難しい語です。

「オロワ」は、一つの動作が終わって、それから次の動作をするという表現のとき、つまり「～してから～する」という意味で使われます。

Lesson38 いろいろな表現7 (~してしまった)

【今日の例文】

1. シュクダイ クキ ワ オケレ。
 syukudai ku=ki wa okere.
 宿題 ~をする ~て し終わる (宿題をしてしまった。)

2. タネ アナクネ、クコ[□] ハポ カ モコ[□] ワ オケレ。
 tane anakne, ku=kor hapo ka mokor wa okere.
 今 ~は 私の 母 ~も 眠る ~て し終わる
 (今はもう、お母さんも寝てしまった。)

3. クマタキヒ スケ ワ オケレ。
 ku=matakihi suke wa okere.
 私の妹 料理をする ~て し終わる
 (私の妹は料理をしてしまった。)

4. チエ^マ カ カム カ クエ ワ イサム。
 cie^m ka kam ka ku=e wa isam.
 魚 ~も 肉 ~も ~を ~て ない
 (魚も肉も食べてしまった。)

5. フシコ アミ^マ クオスラ ワ イサム。
 husko amip ku=osura wa isam.
 古い 服 ~を捨てる ~て ない
 (古い服を捨ててしまった。)

6. トアンタ アン ア トノト クク ワ イサム。
 toanta an a tonoto ku=ku wa isam.
 そこに ある た お酒 ~を飲む ~て ない
 (そこにあったお酒を飲んでしまった。)

【単語】

アイヌ語		日本語
オケレ	okere	し終わる
アナクネ	anakne	~は
マタキヒ	matakihi	私の妹 (女性から見た妹)
スケ	suke	料理をする (自)
フシコ	husko	古い

Lesson39 いろいろな表現8 (～で・～へ・～から)

【今日の例文】

1. チセ オンナイト シネ チャペ アン。

cise onnayta sine cape an.
 家 ～の中に 1 ネコ いる
 (家の中に1匹のネコがいる。)

2. チセ オッタ アチャポ ネワ マツカラク オカイ。

cise otta acapo newa matkarku okay.
 家 ～に おじさんと 姪 いる
 (家の中におじさんと姪がいる。)

3. チセ オルン ウナルペ ネワ カラク アフフ。

cise orun unarpe newa karku ahup.
 家 ～へ おばさんと 甥 入る
 (家の中へおばさんと甥が入った。)

4. チセ オロワ クコロ ミチ ソイエネ ワ エク。

cise orwa ku=kor mici soyene wa ek.
 家 ～から 私の お父さん 外へ出る ～て 来る
 (家の中から私のお父さんが出て来た。)

5. ニサッタ オキナワ ウン クオマン。

nisatta okinawa un ku=oman.
 明日 沖縄 ～へ 行く
 (明日沖縄へ行きます。)

6. クウタリヒ レブンモシリ ワ エク。

ku=utarihi repunmosir wa ek.
 私の友だち 外国 ～から 来る
 (私の友だちは外国から来ました。)

【単語】

アイヌ語		日本語
シネ	sine	1
チャペ	cape	ネコ
マツカラク	matkarku	姪
カラク	karku	甥



Lesson40 テキスト3の復習

【今日の例文】

1. タンペ エンコレ。

tanpe en=kore.
これ 与える (これを私にください。)

2. アイヌイタ ユンヌレ ヤン。

aynuitak un=nure yan.
アイヌ語 教える ~してください (アイヌ語を私たちに教えてください。)

3. タン ポロ カムイチェ ヲエコレアシ。

tan poro kamuycep e=kore=as.
この 大きい サケ 与える (この大きいサケをあなたにあげます。)

4. クコロ フッチ アイヌイタ エチヌレ。

ku=kor hutci aynuitak eci=nure.
私の お婆さん アイヌ語 教える
(私のお婆さんがあなたたちにアイヌ語を教えた。)

5. クアニ アナ ヲヤママルケンユウ クネ。 シラオイコタン オッタ クアン。

kuani anak yamamarukenyu ku=ne. siraoikotan otta ku=an.
私 ~は 山丸賢雄 です 白老町 ~に いる
(私は山丸賢雄です。白老町に住んでいます。)

6. チオカイ アナ ケラアン アエ チエ。

ciokay anak keraan aep ci=e.
私たち ~は 美味しい 食べ物 ~を食べる
(私たちは美味しい食べ物を食べます。)

7. アオカイ アナ ポロ カムイチェ ユンエイメッカラ。

aokay anak poro kamuycep un=eymekkar.
私たち ~は 大きい サケ 分け与える
(私たちは大きいサケを分けて貰った。)

8. エアニ アナ サッポロ オッタ エアン ルウエ。

eani anak sapporo otta e=an ruwe.
あなた ~は 札幌 ~に いる ~か (あなたは札幌に住んでいるのですか。)

9. エチオカイ カ ケラアン トペンペ エチエ ヤ。

eciokay ka keraan topenpe eci=e ya.
あなたたち ~も 美味しい お菓子 ~を食べる ~か
(あなたたちも美味しいお菓子を食べますか。)





10. カンピソシ ネワ トペンペ クコロ ワ エコツ チセ オルン クオマン。
kanpisos newa topenpe ku=kor wa e=kor cise orun ku=oman.
本 と お菓子 ~を持つ て ~を持つ 家 ~へ 行く
(本とお菓子を持って、あなたの家へ行きます。)

11. クアッカシ ワ エキ オルン クオマン イネ デンシャ クオ。
ku=apkas wa eki orun ku=oman ine densya ku=o.
歩く ~して 駅 ~へ 行く ~して 電車 乗る
(歩いて駅へ行って、電車に乗りました。)

12. ポロンノ クモコロ クス タネ クモコン ルスイ カ ソモ キ。
poronno ku=mokor kusu tane ku=mokor rusuy ka somo ki.
たくさん 眠る ので 今は 眠る ~したい も ~をしない
(たくさん眠ったので今は眠くない。)

13. ポロンノ クモコロ ア コロカ ナア クモコン ルスイ。
poronno ku=mokor a korka naa ku=mokor rusuy.
たくさん 眠る た けれど まだ 眠る ~したい
(たくさん眠ったけれどまだ眠い。)

14. クイペルスイ ヤッカ アエッ カ イサム。
ku=iperusuy yakka aep ka isam.
お腹が空く ~けれども 食べ物 ~も ない
(お腹が空いたけれども食べる物もない。)

15. クコロ エカシ チタッペ カタ ホツケ ワ アン。
ku=kor ekas citarpe kata hotke wa an.
私の お爺さん ござ ~の上に 横になる ~して いる
(私のお爺さんはござの上で横になっている。)

【今日の解説】

テキスト3は今回で終わりです。この講座が始まって9ヶ月が経ちました。アイヌ語は独立した言語ですので、9ヶ月で理解できることは、それ程多くはないかもしれません。テキストでは、なるべく易しい表現を扱ってきました。それでも、週に1回しかない放送ですから、学べることは限られています。この講座も残すところあと3ヶ月、12回になりました。年末年始が入って忙しい時期ですが、最後までお付き合いいただきますよう、お願いいたします。

アイヌ語ラジオ講座収録テープ等貸出しについて

1. 利用時間

(公財) アイヌ文化振興・研究推進機構：午前9時～午後5時（月～金）
アイヌ文化交流センター：午前10時～午後6時

2. 休業日

(公財) アイヌ文化振興・研究推進機構：土・日曜日、祝日、年末・年始（12月29日～1月3日）
アイヌ文化交流センター：月・日曜日、祝日の翌日、年末・年始（12月29日～1月3日）

3. 申込手続から受取

裏面の申込用紙を当公益財団またはアイヌ文化交流センター事務局に提出いただき、手続きが完了しましたら、収録テープ等をお送りします。

また、送料は利用者負担としておりますので、送料分の切手を同封いただくか、または料金着払いにてお送りします。なお、切手を同封される場合には料金を下記までお問い合わせください。

4. 期 間

申込みの日から14日以内に返却してください。

5. お問合せ先

(公財) アイヌ文化振興・研究推進機構

〒060-0001
北海道札幌市中央区北1条西7丁目
プレスト1・7（5階）
TEL. (011) 271-4171 FAX. (011) 271-4181
e-mail : ainu@frpac.or.jp

アイヌ文化交流センター

〒104-0028
東京都中央区八重洲2丁目4番13号
ユニゾ八重洲2丁目ビル（3階）
TEL. (03) 3245-9831 FAX. (03) 3510-2155
e-mail : acc-tokyo@frpac.or.jp

アイヌ語ラジオ講座収録テープ等の貸出申込用紙

*申込番号					申込日	平成	年	月	日				
*返却期日	平成	年	月	日	*返却日	平成	年	月	日				
住所	〒 ー				氏名								
年齢	才	性別	男・女	職業									
連絡先	電話：				FAX：								
	電子メール：												
希望地域	平成10年度	札幌	千歳	平取	旭川	種類	・カセットテープ （平成10～11年度） ・コンパクトディスク（CD） （平成12～28年度） ○で囲んでください。						
	平成11年度	白老	釧路	登別	静内								
	平成12年度	白糠	浦河	鶴川	帯広								
	平成13年度	白老①	白老②	登別①	登別②								
	平成14年度	白糠①	白糠②	鶴川①	鶴川②								
	平成15年度	平取①	平取②	平取③	平取④								
	平成16年度	旭川①	旭川②	旭川③	旭川④								
	平成17年度	静内①	静内②	静内③	静内④								
	平成18年度	様似①	様似②	様似③	様似④								
	平成19年度	平取①	平取②	平取③	平取④								
	平成20年度	旭川①	旭川②	旭川③	旭川④								
	平成21年度	静内①	静内②	静内③	静内④								
	平成22年度	白老①	白老②	白老③	白老④								
	平成23年度	旭川①	旭川②	旭川③	旭川④								
	平成24年度	鶴川①	鶴川②	鶴川③	鶴川④								
	平成25年度	浦河①	浦河②	浦河③	浦河④								
	平成26年度	平取①	平取②	平取③	平取④								
	平成27年度	石狩①	石狩②	石狩③	石狩④								
	平成28年度	十勝①	十勝②	十勝③	十勝④								
	平成29年度	白老①	白老										
	希望教室を○で囲んでください。												
特記事項													

注1 *印の箇所は記入しないでください。 注2 団体による申込みの場合には、代表者の氏名、住所等を記入してください。

リスナーのみなさまへ

「アイヌ語ラジオ講座」をお聴きいただきありがとうございます。

この講座は、初心者向けのアイヌ語やアイヌ文化講座として放送しています。この講座の必要性やあり方などを検討するにあたり、みなさまのご意見、ご感想などをお聞きするものです。下記の質問について、該当の番号を○で囲み、その他のご意見などをご記入の上、お送りください。

のりしろ (キリトリ)

※キリトリ線を切り取って、封筒にしてご郵送ください。
※封筒を作る際はのりしろをセロハンテープ等でしっかりと貼り合わせてください。

(キリトリ)

アイヌ語ラジオ講座アンケート

(年齢 才 男・女)

I この講座についてお尋ねします。

この講座をなにして知りましたか。

問1 ①ラジオ ②新聞 ③ホームページ ④ポスター・チラシ ⑤アイヌ語教室 ⑥その他 ()

この講座を何回くらい聴いていますか。

問2 ①月に1回 ②月に2~3回 ③毎週 ④その他 ()

この講座をいつ・どのような方法で聴いていますか。

問3 ①日曜日の本放送 ②土曜日の再放送 ③放送を録音して ④ホームページ ⑤貸出しテープ・CD

この講座の放送時間(15分間)について、どう思われますか。

問4 ①もっと短く () 分位 ②このままで良い ③もっと長く () 分位

この講座の内容について、どう思われますか。

問5 ア)「今日の例文」について ①わかり易い ②普通 ③わかりにくい ()

イ)「単語」について

①わかり易い ②普通 ③わかりにくい ()

ウ)「今日の解説」について

①わかり易い ②普通 ③わかりにくい ()

テキストの内容について、どう思われますか。

問6 ①もっと易しく ②このままで良い ③もっと詳しく ()

II これからの講座のあり方についてお尋ねします。

この講座をラジオで放送することについて、どう思われますか。

問7 ①続けてほしい ②どちらとも言えない ③やめても良い

現在の内容のほか、どのような話を聴きたいですか。

問8 ①アイヌ語を学ぶきっかけなどの体験談 ②アイヌ文化に関わる体験談 ③地域のアイヌ語・文化に関わる活動の紹介
④その他 ()

「アイヌ文化の紹介」で取りあげてほしいテーマはありますか。

問9 ①ある a地名 b歴史 c歌・踊り d口承文芸 e儀礼 f工芸 gその他 () ②ない

III その他のご意見があればお聞かせください。

(平成29年9月発行分)

のりしろ

(キリトリ)

※キリトリ線を切り取って、封筒にしてお送りください。

※封筒を作る際はのりしろをセロハンテープ等でしっかりと貼り合わせてください。

(キリトリ)

(キリトリ)

料金受取人払郵便

札幌中央局
承認

2127

差出有効期限
平成30年3月
31日まで
●切手不要

0608788

札幌市中央区北一条西七丁目プレスト1・7 5階

公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

アイヌ語ラジオ講座担当者 行



(キリトリ)

(キリトリ)

MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing a memo.



MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing a memo.



会員募集のお知らせ

『賛助会員』を募集しています。

国及び北海道からの財政的な支援をいただいておりますが、法律の趣旨を踏まえ多様な事業を展開していくために運営基盤の確立が重要であります。

このため、地元北海道はもとより、全国の個人、団体や企業の方々から、幅広くご支援をいただくことが大切であると考えております。

つきましては、このような趣旨をご理解の上、賛助会員としてご入会くださいますようお願い申し上げます。

年会費

■法人・団体／一口2万円

■個人／一口5千円

※各一口以上です。

賛助会費の使途

皆様からの会費は、アイヌ文化に関する書籍、写真、ビデオ等のライブラリーの整備など当公益財団の自主事業の充実のためにあてられます。

会員の特典

会員の皆様には、次のような特典があります。

- ・当公益財団が発行する刊行物等の無料配布

●寄付金税額控除について

当公益財団は、平成25年12月に国から「税額控除に係る証明書」の交付を受けておりますので、所得税を納付している場合、確定申告に必要書類を添付することで、所得税や住民税から一定額が控除されます。

平成29年度「アイヌ語ラジオ講座」テキスト Vol.3

発行年月 平成29年9月

編集・発行 公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構



[公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構とは…]

平成 9 年 5 月、アイヌ文化の振興等を行い、アイヌの人たちの民族としての誇りが尊重される社会の実現と、我が国の文化の多様な発展を図ることを目的とする「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」が制定され、同年 7 月から施行されました。

当公益財団は、平成 9 年 7 月、北海道札幌市内に事務所を、同年 9 月には東京都内にアイヌ文化交流センターを開設し、この法律に基づき、アイヌ文化の振興、アイヌの伝統やアイヌ文化に関する知識の普及・啓発などの事業を実施しています。

●公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構

〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7 (5階)
The Foundation for Research and Promotion of Ainu Culture (FRPAC)
Presto 1.7 (5F) .Kita 1, Nishi 7, Chuo-ku, Sapporo 060-0001 Japan
TEL.011-271-4171 FAX.011-271-4181
ホームページ <http://www.frpac.or.jp>
e-mail:ainu@frpac.or.jp

●アイヌ文化交流センター

〒104-0028 東京都中央区八重洲2丁目4番13号
ユニゾ八重洲2丁目ビル (3階)
Ainu Culture Center, Tokyo
UNIZO Yaesu 2-chome Building(3F),4-13,Yaesu 2-chome, Chuo-ku, Tokyo 104-0028 Japan
TEL.03-3245-9831 FAX.03-3510-2155
e-mail:acc-tokyo@frpac.or.jp

